**２．あなたにとって当たり前の事は、他の人からしたら当たり前の事では無いかもしれない！**

主人公であるアダム氏が、ボンド紙を作る会社に広告の提案をしに行った際、彼はまず二日間、ボンド紙について様々な情報を集め、分析をしました。

この会社で作られているボンド紙は、

・厳選された素材

・高純度の水

・手作業による点検

によって作られており、この３つの特徴を全面に押し出した広告を打とうとアダム氏は考えました。

早速、この会社のメリット社長にこの広告案を伝えに行った所、酷くガッカリされたそうです。

「青年よ。君の広告案はボンド紙の製造では当たり前の事で、他の会社もやってるし、この世の皆が知ってる事だ！私が欲しいのは、もっとオリジナルで革新的なアイデアだ！」

アダム氏はすぐさま、言い返しました、

「当たり前じゃないですよｗ私は知らなかったですし、私の会社の人達も恐らく知らない事でしょう。おっしゃる通り、この広告案はシンプルな事実を述べただけですが、これを何か月もお客さんに向けて発信すれば、この会社のボンド紙は普通では無いとお客さんの頭に叩き込まれ、競合他社が同じような広告を打ち出しても時既に遅し」

「なるほどな…だがな、こんな当たり前の事を打ち出した広告、競合他社に笑われてしまうだろ！」

「メリット社長…そもそも、今回の広告とは誰に向けた物なのでしょうか？競合他社さんですか？お客さんではないんでしょうか？（論破）」

この「あなたにとって当たり前の事は、他の人からしたら当たり前の事では無いかもしれない」と言うチョップス（知識）から学べる事は：

・大事なのは、全員が同じ認識で居ると言う事を確認する事。認識のズレによって、社内のコミュニケーションがズレる事もあるでしょう。

・今回のお話のように、当たり前の事の認識の違いが勝機に繋がる事もあるでしょうから、自分自身が当たり前の事の気がついているのか？と言う事と、私が思う当たり前の事は他の人からしても当たり前の事なのか？と言う２点を気を付けると良いのではないでしょうか？

・そして、日本は高文脈文化であり、「阿吽の呼吸」や「背中で語る」と言う言葉が代表するように、当たり前の事は言葉にしない、語らない事に美学を持っていますので、物事や人の「見方」について疑心暗鬼で居る事が良いのかもしれません…

何故なら、あなたにとって当たり前の事は…